

**「さくた けしゅうたくおもや作田家住宅主屋」・「さくた けしゅうたくくら作田家住宅蔵」(八代市)、「しんこうじやかしわばらけ新麴屋柏原家  
じゅうたくなかにわへい住宅中庭塀」(宇城市)、「あだちけしゅうたくおもや足達家住宅主屋」(産山村)が国の登録**

**有形文化財(建造物)に答申されます**

令和3年3月19日(金)に開催される国の文化審議会(会長 佐藤まこと信)は、新たに132件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行う予定です。

県内では、「さくた けしゅうたくおもや作田家住宅主屋」・「さくた けしゅうたくくら作田家住宅蔵」(八代市)、「しんこうじやかしわばらけしゅうたくなかにわへい新麴屋柏原家住宅中庭塀」(宇城市)、「あだちけしゅうたくおもや足達家住宅主屋」(産山村)が新たに登録される予定です。県内における登録有形文化財(建造物)は、今回登録分を含めて179件となります。

なお、4件とも熊本地震により被害を受けましたが、民間からの寄付金を財源とした「平成28年熊本地震被災文化財等復旧復興基金」を活用し、歴史的建造物の修復等の研修を受けた建築士(ヘリテージマネージャー)の支援を受けて、歴史的価値を損なわない工法により修復した建造物になります。

登録名称：作田家住宅主屋

作田家住宅蔵

新麴屋柏原家住宅中庭塀

足達家住宅主屋

**【問合せ先】**

八代市経済交流部文化振興課

担当 山内 TEL0965-33-4533

宇城市教育委員会文化課

担当 市村 TEL0964-32-1954

産山村教育委員会事務局

担当 嶋本 TEL0967-25-2214

熊本県教育庁教育総務局文化課

担当 岩下 TEL096-333-2707

## 1 答申が行われた文化財の概要

登録名称	さくたけじゅうたくおもや 作田家住宅主屋
所在地	八代市本町二丁目5 - 3他
建設年代等	昭和元年 / 平成9年頃改修
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式	木造二階建、瓦葺
特徴等	八代市の中心部に位置。二階建てで屋根を東は切妻屋根、西は入母屋屋根としている。二階はガラス戸を間口いっぱい建て高欄を付けている。二階の十二畳大の座敷二室は旧態をよく残す近代和風の好例。



全景（右奥の建物が蔵）



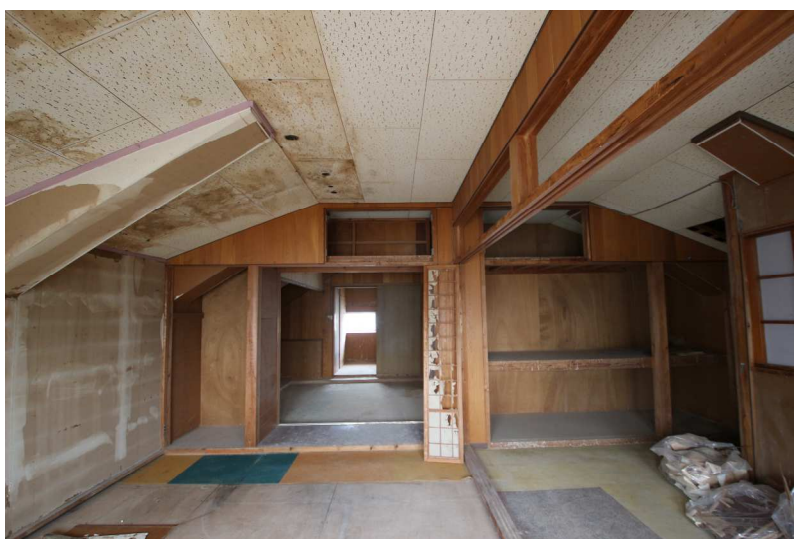
内部（二階）

## 2 答申が行われた文化財の概要

登録名称	さくたけじゅうたくくら 作田家住宅蔵
所在地	八代市本町二丁目5 - 6
建設年代等	大正10年 / 昭和52年頃・平成6年改修
登録基準	再現することが容易でないもの
構造及び形式	もっこつれんがぞう 木骨煉瓦造三階建、瓦葺
特徴等	主屋に隣接する三階建ての蔵。一階は木の骨組みの外周に煉瓦積みを現し、二階以上は木の柱の間に煉瓦を積み上げて壁をつくり土蔵風に見せる特異な構造を持ち、主屋とともに通りの景観を形成する。



通りより見る（左手前の建物が主屋）



内部（三階）

### 3 答申が行われた文化財の概要

登録名称	しんこうじやかしわぼらけじゅうたくなかにわへい 新鞠屋柏原家住宅中庭塀
所在地	宇城市小川町小川字上刈萱58-1
建設年代等	大正後期
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの
構造及び形式	木造、 <sup>がわらぶき</sup> 瓦葺
特徴等	宇城市小川町の薩摩街道に南面して建つ既登録の主屋と離れの間に建つ中庭の塀。壁を黒漆喰塗 <sup>くろじっくいぬり</sup> とし、腰の煉瓦積み <sup>いちまつ</sup> を市松風に配する意匠が目を引く。



全景



屋根部分拡大

#### 4 答申が行われた文化財の概要

登録名称	あだちけしゅうたくおもや 足達家住宅主屋
所在地	阿蘇郡産山村大字大利字大利北向1406
建設年代等	明治24年 / 大正元年頃増築
登録基準	造形の規範となっているもの
構造及び形式	木造二階建、鉄板葺
特徴等	豊後街道に北面して建つ。 <sup>からはふづくり</sup> 唐破風造の式台玄関の随所に彫刻が施され、内部の床付き座敷は <sup>ありかべ</sup> 蟻壁を廻すなど、格調高い。 <sup>しよいん</sup> 書院風の構えを有する質の高い農家の主屋。



全景



内部

## 【用語説明】

きりづま  
切妻屋根...棟から両側に勾配の流れを持つ屋根形式。



いりもや  
入母屋屋根...寄棟屋根の上部に、切妻の小屋根を合わせたような形状の屋根。  
寄棟屋根：棟を中心に四方に流れを持つ屋根。



こうらん  
高欄...建物の縁回りなどに取付けられる手すり。  
縁（縁側）：畳敷きの部屋の外側にある板敷の部分。

木骨煉瓦造...木材の骨組みの間に煉瓦で壁を作る構造。

どそうづく  
土蔵造り...木造に土壁塗りの蔵で、耐火建築物として道具や食料の格納に用いられる。

くろじっくいぬ  
黒漆喰塗り...白漆喰の上に黒のろを塗って黒壁に仕上げる工法。

黒のろ：黒漆喰の仕上げ工程で用いる材料。油煙（ゆえん 菜種油などの植物由来の  
黒色顔料）・消石灰・角叉（つのまた 糊として使用される海藻類）で作られる。

市松...碁盤目状の格子の目を交互に並べた模様。

唐破風...中央がそり曲がった破風。おもに玄関・門などに取付けられる。

破風（板）：屋根の妻側に取付けられた厚板又はその部分（屋根の部材を隠し、雨  
除けの目的で取付けられる板）

式台玄関...公式の出入り口に設ける低い板敷部分のことで、身分の高い来客を迎えたり、  
駕籠かごからの乗り降りの際に足を汚さないために使われる玄関。

蟻壁...長押（なげし 鴨居上部に取付けられる部材）と天井との間に設けられる幅の狭い壁。

しよいんつく  
書院造り...上層武家住宅の建築様式。座敷飾りとして、床の間、違い棚、書院が付く。  
書院：床の間の横に設けられる障子窓のある座敷飾り。

近代和風建築...明治以降に伝統的技法及び意匠を用いてつくられた住宅